

吉川市子ども・子育て支援事業計画 計画の進捗状況について



1 子ども・子育て支援事業計画の点検及び評価

1 計画の点検・評価について

吉川市子ども・子育て支援事業計画では、計画の推進にあたって、計画の点検・評価については以下のように定めています。

計画の推進

進捗状況の管理

子ども・子育て支援事業計画に基づく施策の進捗状況について、この計画で掲げた事業の目標値や確保方策などについて、定期的に点検・評価します。

また、児童福祉審議会を開催し、本計画の進捗状況について定期的に検証するもと共に、その内容を公表します。

2 点検・評価方法

- (1) 事業ごとの「確保方策」の進捗状況
- (2) 事業ごとのの実績及び取組
- (3) 今後の方針

3 計画の見直しについて

計画の内容と実際の状況に乖離がある場合は、必要に応じて計画期間中に見直しを検討することとなります。

平成28年度においては、幼児期の学校教育・保育事業、病児・病後児事業の量の見込と提供体制の確保の内容に乖離がみられるため、数値の見直しを行います。

○進捗状況

1 幼児期の学校教育・保育

		3 幼児期の学校教育・保育		
内容	認定区分	認定の内容	利用先	
	1号認定 (教育標準時間認定)	満3歳以上の小学校就学前の子どもで、教育を希望する場合	幼稚園 認定こども園	
	2号認定 (満3歳以上・保育認定)	満3歳以上の小学校就学前の子どもで、保育所等での保育を希望する場合	保育所 認定こども園	
	3号認定 (満3歳未満・保育認定)	満3歳未満の小学校就学前の子どもで、保育所等での保育を希望する場合	保育所 認定こども園 地域型保育 (小規模保育)	

計画

		全体		
		1号認定	2号認定	3号認定
①量の見込 (必要定員総数)		1,385人	571人	480人 (0歳 112人)
②確保 の内容	認定こども園 幼稚園・保育所	1,745人	530人	297人 (0歳 59人)
	地域型保育事業(小 規模保育)		4人	64人 (0歳 12人)
②-①		360人	▲37人	▲119人 (0歳 ▲41人)

実績(平成27年4月1日現在)

		1号認定	2号認定	3号認定
①‘申込数		1,301人	566人	456人 (0歳 74人)
②‘定員数	認定こども園 幼稚園・保育所	1,745人	541人	286人 (0歳 56人)
	地域型保育事業 (小規模保育)		0人	57人 (0歳 9人)
②‘-①‘(不足数)			▲25人	▲113 (0歳 ▲9人)

現状と課題

定員60人の認可保育所1カ所、定員19人の小規模保育3カ所を平成27年4月1日に新設し、117人の定員増を図った。また、平成27年度中に、定員90人の認可保育所2カ所の新設、既設保育所の定員を30人増員し、計210人の定員増の準備を進めたが待機児童解消には至らない状況である。

今後の方向性

- 継続
- 見直し
- 完了

【説明】

新制度になり、保育所の入所対象が拡大するとともに、平成27年度から平成28年度に新たな保育所整備を行ったことから保育所の入所を希望する保護者が増加し、保育所の入所申込み率が高くなっている。今後も、申込数は増加するものと考えられるため、計画の見直しを検討する必要がある。

2 地域子ども・子育て支援事業

事業名		4地域子ども・子育て支援事業 (1)地域子育て支援事業		
計画	内容	地域における子育てを支援するため、地域の身近な場所に子育て支援センターを設置し、子育て中の親子の交流・育児相談等を実施しています。		
	中学校区	東	中央	南
	量の見込み	3,721人	2,252人	6,970人
	確保の内容	1か所	1か所	1か所
実績	平成27年度実績 (平成28年3月31日現在)	5,462人	8,411人	12,823人
	現状と課題	<p>子育て支援センターについては、各中学校区に1カ所設置している。 量の見込以上の利用はあるが、各子育て支援センターの運営については支障なく実施している。 ※平成28年度、栄町子育て支援センターを同じ中央中学校区内で移転し、中央子育て支援センターとして運営を開始した。</p>		
	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 完了	【説明】 今後も事業を継続していく	

事業名		4地域子ども・子育て支援事業 (2)一時預かり事業(幼稚園型)		
計画	内容	保護者の希望に応じて、4時間を標準とする幼稚園の教育時間の前後や土曜・日曜、長期休業期間中(春・夏・冬休みなど)に、在園児を対象として教育活動を行う事業です。		
	中学校区	東	中央	南
	量の見込み (1号認定による利用)	2,701人	5,516人	5,155人
	確保の内容 (一時預かり事業・幼稚園型)	2,701人	5,516人	5,155人
実績	平成27年度実績 (平成28年3月31日現在)	3,936人	5,816人	6,298人
	現状と課題	一時預かり事業(幼稚園型)は、新制度に移行した幼稚園を対象にしているが、吉川市内には新制度に移行している幼稚園がないため当事業の実施施設はない。市内の全5幼稚園において独自の一時預かりを実施しており、実績値は幼稚園独自の一時預かりの利用状況を記載している。		
	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 完了	【説明】 一時預かり事業(幼稚園型)を実施する予定のある幼稚園はないため、現状のまま継続する。	

事業名		4地域子ども・子育て支援事業 (3)延長保育事業		
計画	内容	保育所の保育時間は、児童福祉施設最低基準上は8時間が原則ですが、保護者の労働時間やその他の状況を考慮して、保育時間を定められることになっています。在園児を対象として保育を行う事業です。		
	中学校区	東	中央	南
	量の見込み	10人	77人	150人
	確保の内容	10人	77人	150人
実績	平成27年度実績 (平成28年3月31日現在)	54人	120人	320人
	現状と課題	勤務地が遠方や勤務時間が長い保護者が多く、延長保育の需要は高い。市内の全認可保育所で事業を実施できており、利用者全てが利用できている状況であるため、課題は特にない。		
	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 完了	【説明】 今後も事業を継続していく。	

事業名		4地域子ども・子育て支援事業 (4) 病児・病後児保育事業、緊急サポート事業		
計画	内容	<p>病児・病後児保育事業は、保護者の勤務の都合や疾病、事故、出産等の理由により、家庭にて保育できない病気または病気回復期にある生後3か月から小学校3年生までの児童を看護師・保育士等が一時的に預かる事業です。</p> <p>また、緊急サポート事業は、緊急性を伴う預かりを会員同士の相互の助け合いで行う事業です。</p>		
	中学校区	市内全域		
	量の見込み	2,184人		
	確保の内容	病児・病後児保育事業	2,060人	
		緊急サポート事業	124人	
平成27年度実績 (平成28年3月1日現在)	病児・病後児保育事業	325人		
	緊急サポート事業	6人		
実績	現状と課題	<p>病児・病後児保育については、当初は登録者全員が利用すると考え、見込登録者数に一人当たりの平均預かり日数を乗じた数を量の見込としていたが、実際の延べ利用人数は300～400人程度で推移しており、見込と乖離している。また、病児・病後児保育実施施設が年間に受入可能な人数は、定員4人×年間開室日数約280日＝1,120人程度であるため、受け入れ状況に問題はない。</p> <p>緊急サポート事業については、ファミリー・サポート・センター事業や病児・病後児事業で対応しきれなかった方が利用しているので、少ない件数となっている。</p>		
	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 完了	【説明】 病児・病後児事業の量の見込、確保内容について計画の見直しを図るとともに、事業は引き続き実施していく。	

事業名		4地域子ども・子育て支援事業 (6) 一時預かり事業(幼稚園型を除く)、子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター事業)、子育て短期支援事業(児童ショートステイ事業)		
計画	内容	<p>子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター事業)は、子育ての援助を受けたい方(利用会員)と子育ての援助を行いたい方(協力会員)が相互援助活動を行う事業です。</p> <p>また、子育て短期支援事業(児童ショートステイ事業)は、保護者の社会的事由により、乳幼児の養育が一時的に困難な状態になった場合に利用できる事業です。</p>		
	中学校区	市内全域		
	量の見込み	7,351人		
	確保の内容	一時預かり事業 (幼稚園型を除く)	4,754人	
実績	平成27年度 実績	子育て援助活動支援事業 (ファミリー・サポート・センター事業)	2,505人	
		子育て短期支援事業 (児童ショートステイ事業)	92人	
		一時預かり事業 (幼稚園型を除く)	2,941人	
		子育て援助活動支援事業 (ファミリー・サポート・センター事業)	2,665人	
		子育て短期支援事業 (児童ショートステイ事業)	0人	

実績	現状と課題	<p>一時預かり事業の利用実績(平成27年度)の内訳は第一保育所1,383人、第二保育所1,472人、ST86人である。</p> <p>利用者負担は第一、第二保育所で1日1,600円から1,700円、STは1時間500円となっている。</p> <p>第一、第二保育所では利用希望が多く、1日の受け入れ定員を超えてしまい利用できないケースもある。</p> <p>一時預かり事業は、保育所の入所要件を満たさない保護者が利用することが想定されていたが、現状では待機児童の受け皿的な利用もある状況となっている。</p> <p>ファミリーサポートセンター事業については、利用を希望する会員については、すべて協力会員とのコーディネートができています。しかし、利用希望が増加している美南地区での協力会員が不足しているため、協力会員の確保が課題です。また、児童ショートステイ事業については、施設側に緊急の事情がある場合は、対応が困難なため、なかなか利用に結びつかないことが課題です。</p>
	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 完了 <p>ファミリー・サポート・センター 事業については、広報での周知のほか、協力会員等の説明会の回数を増やすなど、会員確保に向けた努力をしていく。</p>

事業名		4地域子ども・子育て支援事業 (5)放課後児童健全育成事業(学童保育事業)		
計画	内容	放課後児童健全育成事業は、放課後、保護者の就労などにより保育が必要な小学校の児童を保育する事業です。		
	中学校区	東	中央	南
	① 量の見込み	67人	283人	378人
	② 確保の内容	2か所 2クラス80人	2か所 8クラス320人	4か所 12クラス438人
	②-①	13人	37人	60人
実績	平成27年度 ① ‘申込者数 (平成28年3月31日現在)	57人	244人	368人
	平成27年度 ② ‘受入数 (平成28年度3月31日現在)	2か所 2クラス80人	2か所 7クラス280人	4か所 11クラス38人
	② ‘-①’	23人	36人	70人

実績	現状と課題	<p>【東中学校区】 東中学校区にある旭学童保育と三輪野江学童保育の児童数は横ばいで推移している。</p> <p>【中央中学校区】 中央中学校区にある関学童保育と栄学童保育の児童数はともに減少していく見込みであるため、クラス数の縮小などを検討していく必要がある。</p> <p>【南中学校区】 南中学校区内にある吉川学童、北谷学童、中曽根学童については児童数の減少が見込まれているが、美南学童については今後も児童数の増加が見込まれているため、児童数の動向に注視しつつ、施設整備を行う必要がある。</p>	
	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 完了	<p>中央中学校区での児童数の動向を注視するとともに、児童数の増加が見込まれる美南学童がある南中学校区の児童数の動向を、特に注視していく。</p>

事業名		4地域子ども・子育て支援事業 (7)乳児家庭全戸訪問事業	
計画	内容	保健センターの保健師等が、生後4か月までの乳児がいる全家庭を訪問し、育児上必要な情報の提供と、養育環境の把握を行う事業です。	
	中学校区	市内全域	
	量の見込み	562人	
	確保の内容	実施体制：母子保健事業の新生児訪問や未熟児訪問と合わせながら保健師・助産師・看護師の11人体制で訪問を実施	
実績	平成27年度実績 (平成28年3月31日現在)	474人	
	現状と課題	27年度途中から全ての家庭への訪問を開始した。ハイリスクケース、母子保健支援員が訪問しても会えなかったケースは、地区担当保健師が引き継いでいる。また、乳児家庭全戸訪問で会えなかった場合は、4か月児健診で状況を確認、必要な情報提供にも努めている。	
	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 完了	【説明】 母子手帳交付時に出生連絡票を提出してもらえるように、周知徹底する。事業自体の周知も併せて行っていく。

事業名		4地域子ども・子育て支援事業 (8) 妊婦に対して健康診査を実施する事業(妊婦健診)	
計画	内容	妊婦健診事業は、母子保健法第13条で、自治体が必要に応じて妊産婦に対して健康診査を行うことが規定されており、母子保健の向上を図ることを目的に実施している事業です。	
	中学校区	市内全域	
	量の見込み	562人	
	確保の内容	妊娠届出時に、保健師等と面接しながら健康診査の助成券を発行し、受診勧奨を行う。	
実績	平成27年度実績 (平成28年3月31日現在)	628人	
	現状と課題	妊娠届出時、全妊婦に対して保健師等が面接したうえで、健康診査の受診を勧奨している。妊娠期における健康管理の機会を確保し、安心して出産に臨めるよう、適正に利用されている。	
	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 完了	【説明】 初めて妊婦と対面する妊娠届の機会を活用し健診の意義を説明しながら、母体の健康・児の健全な発育発達を確保するために今後も継続。

事業名		4地域子ども・子育て支援事業 (9)養育支援訪問事業	
計 画	内容	<p>養育支援訪問事業は、児童福祉法第6条の3第5項で規定された事業であり、乳児家庭全戸訪問事業等で把握した、養育支援が必要となっている家庭に対して、保健師等による具体的な養育に関する指導助言等を訪問により実施し、個々の家庭の抱える養育上の諸問題の解決、軽減を図るための事業です。</p>	
	中学校区	市内全域	
	量の見込み	100人	
	確保の内容	実施体制：10人体制で指導助言等の訪問を実施（保健師、助産師）。	
実 績	平成27年度実績 (平成28年3月31に現在)	32人	
	現状と課題	<p>量の見込としては、100人と見込んでいたが、妊娠届時や乳児家庭全戸訪問時に把握した数としては、30人程度であった。その他の家庭は、概ね通常の支援で対応できている。地区担当保健師は、課題に応じて、福祉担当職員や県職員、主治医など関係機関と連携して訪問支援を行っている。また、法定健診などと組み合わせながら、子どもの発育発達を確認し、実態に応じた処遇を関係者間で検討、実施している。</p>	
	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 完了	【説明】 引き続き、関係機関と連絡を取りながら、適切な時期に支援ができる体制を整える。

事業名		4地域子ども・子育て支援事業 (10) 要保護児童対策地域協議会による要保護児童等に対する支援事業	
計画	内容	要保護児童対策地域協議会は、児童福祉法第25条の2の規定に基づき、本市が設置している協議会であり、虐待を受けている子どもや養育に問題があると思われる子どもの早期発見や適切な保護を目的としています。	
	中学校区	市内全域	
	量の見込み	15件	
	確保の内容	要保護児童対策地域協議会と連携し、訪問等を実施。	
実績	平成27年度実績 (平成28年3月31日現在)	16件	
	現状と課題	関係機関との適切な連携が図れており、協議会での方針に基づいた支援を実施している。	
	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 完了	関係機関との連携を図りながら、引き続き、要保護児童等の適切な支援に向けた運営を実施していく。

事業名		4地域子ども・子育て支援事業 (11)利用者支援事業	
計画	内容	利用者支援事業は、子ども又はその保護者の身近な場所で、教育・保育施設や地域の子育て支援事業等の情報提供及び必要に応じて相談・助言等を行うとともに、関係機関との連絡調整を実施する事業です。	
	中学校区	市内全域	
	量の見込み		
	確保の内容	子育て支援課、各子育て支援センターにおいて実施している子育てに関する相談を充実させるとともに、研修等を通して人材を育成していきます。	
実績	平成27年度実績	子育て支援課や各子育て支援センター等において、様々な子育てに関する相談を受け、相談者に必要な情報を提供したり、関係部署が必要に応じ連携を図った。	
	現状と課題	本市では、全ての職員が、子育てに関する相談・案内ができる体制づくりをめざしており、各支援センターでの相談、講座の実施などを通じスムーズな情報提供・相談等ができています。	
	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 完了	今後、利用者支援の母子型と基本型の実施に向けて、利用者支援員の配置を検討していく。